

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
体育Ⅱ Physical Education Ⅱ		児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	子安 崇夫	
概要				
<p>小学校体育における「体育科」の目標、内容（各運動領域）の構成などを理解するとともに、指導者の基礎的な技術を身につける。フラッグフットボールを教材とし、実践することを通じて子どもが安全かつ自主的な活動を展開できる指導方法の理解を深める。</p>				
到達目標				
<p>(1) 球技の特性に応じた楽しみ方を理解し実践できる。 (2) 球技の指導に必要な基本的知識を理解し表現できる。 (3) 球技に必要な時空間の構成を理解し表現できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 オリエンテーション ー授業の概要についてー 2 アイスブレイキング ーボールを使ったゲーム（導入）ー 3 フラッグフットボール① ーグループづくりおよび基本のゲーム（川渡りゲーム）ー 4 フラッグフットボール② ーランプレイについてー 5 フラッグフットボール③ ーランプレイの応用ー 6 フラッグフットボール④ ーパスプレイについてー 7 フラッグフットボール⑤ ーパスプレイの応用ー 8 作戦の立て方 9 攻撃・守りの基礎的技術の習熟練習①ー基本陣形からの攻撃の展開と守備についてー 10 攻撃・守りの基礎的技術の習熟練習②ーパスプレイ、ランプレイの駆け引きを含めた攻防ー 11 攻撃・守りの応用技術の習熟練習① ー3対2ー 12 攻撃・守りの応用技術の習熟練習② ー4対3ー 13 戦術を意識したゲームの進め方について ー試合形式ー 14 リーグ戦 15 まとめ</p>				
テキストおよび 参考文献	小学校学習指導要領 第9節 体育 資料は随時配布			
メッセージ など				

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 球技の特性に応じた楽しみ方を理解し実践できる。	ほぼ完璧に実践できる。	大きな間違いがなく実践できる。	最低限のことは実践できる。	実践できない。	授業への取り組み (関心・意欲 表現力)	30%
(2) 球技の指導に必要な基本的知識を理解し表現できる。	ほぼ完璧に表現できる。	大きな間違いがなく表現できる。	最低限のことは表現できる。	表現できない。	授業への取り組み・レポート (理解・思考力・判断力・表現力)	50%
(3) 球技に必要な時空間の構成を理解し表現できる。	ほぼ完璧に表現できる。	大きな間違いがなく表現できる。	最低限のことは表現できる。	表現できない。	ゲーム・レポート (知識・理解・表現力)	20%